

ASCO に行く機会を与えて頂き感謝いたします。海外の学会に初めて参加したことは非常に勉強になりました。日本の学会と比べるとそのスケール、多岐に渡る演題、情報の多さ、そして何よりも患者の参画が大きく開かれていることに感動しました。具体的には会場内何処へ行っても構わないし、アドボケートラウンジでの飲食サービス、そして多くの国から患者団体が参加されている事でした。このアドボケートラウンジを有効に使うことが必要と思います。Welcome lunch が開催される日があります。ここで多くのアドボケートと一堂に会することが出来ます。またこの場所で口演も開催されます。会期中のプログラムは事前に分かりますので ASCO Website にある iPlanner で事前にスケジュールを立てておくとう便利です。

展示ブースも広大で入り口近くには患者団体専用のブースもかなり広く占め、患者団体をとても大切にしていることが伺われました。製薬会社ブースへの出入りは自由、ポスター会場も広く見易い、バーコードから資料をダウンロード出来るポスターもあります。

また会場外での会長レセプションが3日目の夜開催され、2年目に参加しました。その時はシカゴ科学博物館が会場になりましたので中を自由に見て回ることが出来ました。日本の医療者の方とお話し出来るチャンスでもあります。



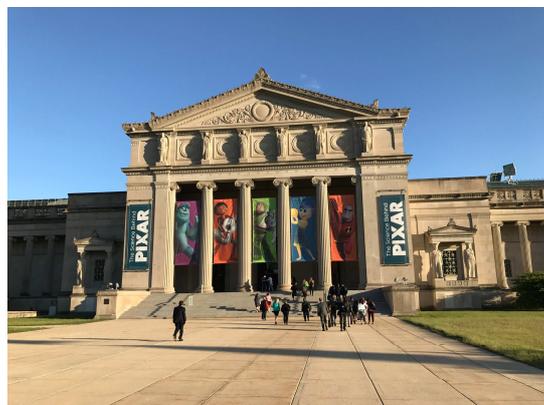
テーマとしては自分の持つ病気に関する発表に一番興味はありました。中でも印象的であったのは、CML の治療目標が TFR (Treatment Free Remission) であると発表されていたこと、以前は早い時期に寛解に持ち込みそれを維持することが治療目標であったこと、そして一生服薬を続けなければならないと言われていた時代から考えると凄い進歩でした。また asiminib という次の薬が治験中であることにも興味がありました。

今後のために手順を記しておきます。JSCO PAL より前年 12 月にスカラーシップ申込みがオープンされますので派遣申請書、申込み理由書、経歴書を期日まで提出します。PAL 委員会により派遣者として選定されれば選考結果の通知が来ますのでこれから準備作業が始まります。ASCO の Website より Patient Advocates の項目から ASCO の登録作業

を行います。しばらくして Registration Confirmation が来ます。この登録作業が結構面倒なので注意して入力作業が必要です。参加証は期日間近になって郵送されてきます。同時にホテル、フライトの予約をしなければなりません。ただその時期はホテル代は非常に高騰します。ASCO のサイトからホテル予約も出来るので利用した方が良いかもしれません。私は民間の予約サイトで予約してキャンセル時にキャンセル代を取られました。

ホテルの場所は会場より多少遠くてもシャトルバスが頻繁に出ているので不自由はありません。私はダウンタウンの方のホテルを取りました、ライブハウスも近いので。気候はその時期比較的温暖ですが寒暖の差が激しい時もありましたので服装は注意が必要です。

出来るだけ多くのアドボケータが経験していくことが出来れば視野と拓げる絶好の機会となります。



今後への要望

- ・ JSCO にとって PAL 派遣は何回か継続されているイベントのはずですが今までのノウハウが蓄積されているのか疑問でした。最初の年はそれこそ右も左も分からない状況でしたので苦労しました。それも研修の狙いだったのでしょうか。
- ・ 現地では患者の立場なので準備はしていきますが、何があるか分かりません。その場合の連絡手段も決まっていなかったようでした。JSCO のブースもあります人が常駐している訳ではありません。
- ・ ASCO は大きな学会ですのでホテル、フライトの確保はととても大変です 1 月末の決定では遅いと感じます。
- ・ 現地での各個人のスケジュール管理の把握程度、医療者との関わりの程度、複数度申込みの可否など基本的ルール付けが必要と思います。
- ・ 我々の年は Facebook のグループ機能を使用して情報交換しました。

今後もこの制度が継続され多くの患者及びアドボケータが実りのある体験をされることを望みます。